

平成 28 年度第 1 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 28 年 5 月 20 日（金） 午前 9 時 30 分から  
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階 第 1 会議室  
 出 席 者 松本幸正（会長）、幸村朋子（委員）、西川恵子（委員）、多田直紀（委員）、  
 近藤博之（委員）、野田佳宏（委員）、川原田真弓（委員）、杉本忠久（委員）、  
 桑原良隆（代理出席）、山内達郎（委員）、福田隆志（委員）、花井祥雄（委員）、  
 近藤 誠（委員）、山本悦子（委員）、二村裕之（委員）、寺田裕美（委員）、  
 大竹弘真（委員）、青山雅道（委員）、牧 茂久（オブザーバー）  
 欠 席 者 古田 寛（委員）、松本謙治（委員）、仙石忠広（委員）  
 事 務 局 市民生活部生活安全課  
 傍聴の可否 可  
 傍聴の有無 あり（3 名）  
 報 告 事 項 平成 27 年度の運行実績について  
 議 題 (1) 平成 27 年度歳入歳出決算について  
 (2) 地域公共交通調査事業（計画推進事業）について  
 (3) 地域公共交通に関する意見  
 (4) その他

発 言 者	内 容（要 旨）
事 務 局	それでは会議の方へ移りたいと思います。 (会議公開・傍聴者入室)
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。
会 長	では議題に入りたいと思います。 報告事項 平成 27 年度の運行実績について
会 長	事務局より報告をお願いします。
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	ご意見ご質問はありますか。
委 員	運行収入と利用者数の推移において、過去最高の数字の年度がずれているのはなぜですか。
事 務 局	収入が最高となっているのは 23 年度ですが、利用者数は 24、25 年度で 50 万人を超えています。これは、23 年度以降、無料パスカードや高齢者定期券の普及が進み、運賃収入には影響しない利用者数が増加したものと判断しています。
委 員	総じて毎年 7 月の利用者数が多いようですが理由はありますか。
事 務 局	7 月 8 月は小中学生の総合運動公園のプール利用があり、近年は大学生の利用が定着してきている影響もあると判断しています。
会 長	コースによって特徴があります。8 月、12～3 月の利用が少ないコースは、大学生の通学利用が多いと判断できます。また、冬場の利用が少なくなるコースは寒い時期

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
	は外出を控える高齢者が利用していると推測できます。その他、年間を通じて比較的満遍なく利用があるコースは通勤利用が多いと判断できます。こうした利用の形態に応じて収入も変わってくると思います。
会 長	それでは議題（１）について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	（資料に基づき説明）
会 長	昨年度の決算案につきまして、ご説明がありました。昨年度は再編に向けた調査を協議会で実施しました。 このお金の使い方につきまして、今日の会議の終了後に監査を実施していただくことになっております。それでは、委員の皆様の中から監査委員の選出を行いたいと思います。
委 員	会長指名でお願いしたいと思います。
会 長	ご提案いただきましたがよろしいでしょうか。
委 員	（異議なし）
会 長	それでは、公募市民委員の幸村委員と商工会理事の大竹委員にお願いしたいと思います。
会 長	続きまして議題（２）について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	（資料に基づき説明）
会 長	昨年度策定した網形成計画を実現する上で必要な事業として、新しい再編後の路線について、路線図及び時刻表が一体となった総合交通マップを作成するということで、国からの補助をいただきながら事業を進めていく、というご説明でした。そして、現在策定中の再編実施計画が国から認定されれば、さらに補助がいただける、ということです。 この形で事業を進めていくことについて、皆さんよろしいでしょうか。
委 員	（異議なし）
会 長	続きまして議題（３）について事務局より説明をお願いします。
事 務 局	公共交通について、日頃からお気づきの点がございましたら、ご発言いただき、共有していくことで課題を認識し、改善につなげていけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。
会 長	何かございますでしょうか。
委 員	近所のバス停の時刻表の表示板が外れそうになっているので直してほしい。
事 務 局	早急に対応させていただきます。
委 員	バス停には、問い合わせ先が分かりやすいように表示してほしい。
事 務 局	再編の際に表示を更新しますので、その際にご意見を反映させていただきたいと思っております。
委 員	病院に行くために使おうと思って問い合わせしても病院の方がバスのことを知らなかったり、買物に行くために使おうと思って、往復の時間がうまく合わない場合があったりしました。

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
委 員	バス停については、隣の敷地の植え込みがはみ出していたり、バス停の銘板が色あせているものがあったりしています。
事 務 局	再編にあたっては、改めて周知を進めるとともに、バス停の環境についても整えていきたいと考えています。
会 長	マップに乗せている施設について基準などはありますか。
事 務 局	現在のマップを作成する際に地域公共交通会議で議論の結果、個別の店舗の名称は全てを載せることができないため公平性の観点から載せないこととしました。ただし、大規模商業施設については目印としてマークで表示しています。
会 長	病院の方が知らないという点はなかなか難しいと思いますが、利用者の方から言っただけのも一つだと思います。路線図のデザインが大きく変わらないといつまでも古いままになってしまうことがあります。周知していただきたいと思います。
委 員	赤池駅のバス停を駅のエレベーターの近くにもってくることはできないでしょうか。あと、おりど病院の南行きのバス停は、歩道が狭くて車椅子では降りることができません。
事 務 局	赤池駅については、バス停の移設を考えています。おりど病院については、新しい路線では北行き的一方方向となります。あわせてバス停の環境整備についてもおりど病院と協力して検討しているところです。
委 員	現在、路線バスのバス停が遠い地区について、駅まではタクシーを利用することが多いのですが、今後バス停が団地の中まで入ってくることはあるのでしょうか。
事 務 局	道路構造上の問題でバスが通行可能かということと、一定時間で巡回するには路線の長さにも限界があり、迂回ルートとすることで時間内に回りきれなくなることもあります。そのため、くるりんばすとしてはバス停までの距離を概ね半径 300m を基準にバス停を設置しています。
委 員	地域の公共交通のあり方として、バスとタクシーの役割分担が必要ではないかと考えています。道路が狭くて需要もそれほど多くない、しかし、高齢の方もいて移動手段がほしい。こういう地区について、タクシーがお役に立てればと思います。 その場合、どのようにタクシーを利用しやすくしていくのか、ということです。例えば70歳以上の方については1割引運賃としています。今後は、免許返納された方に割引の適用を、という考えも出てきているところです。こうした施策を知っていただくことと、組み合わせてご利用いただくことが重要かと思えます。
委 員	もっとバスを小さくすることはできませんか。
委 員	バスの大きさは一番乗る時間帯に必要な輸送力を備えていないといけません。朝夕は多くのお客様が利用されていますが、昼間は少なくなります。途中で車両を変えるということできないため、乗客の少ない時間帯でも同じ大きさになってしまいます。
委 員	車椅子でも乗れるサイズが必要だと思います。
会 長	多くのご意見をありがとうございました。皆さんで協議をしながら改善を進めて行けたらと思いますのでご協力をお願いします。

発 言 者	内 容 ( 要 旨 )
事 務 局	長時間にわたるご審議をありがとうございました。
	(閉会 11時10分)